

Health情報

小冊子「水と健康のちょっといい話し」から

◆水が大事な栄養素であるという認識を持とう！



私たちは、水がなくては生きていけません。食べ物ならばある程度食べなくても生きていけますが、体内から水が不足してしまえばたちまち生命の危機にさらされてしまいます。これは誰もが感覚的に分かっていることですが、栄養学の本をひも解いても水に関する記述はほとんどありません。どんな水を飲めばいいのか？一日の水分補給をどのように工夫すればいいか？そもそも良い水とはどんな水なのか？こうした点が不思議なくらい軽視されてしまっています。

私たちの体は水から出来ています。良い水を摂り入れること。たったこれだけで、細胞は元気を取り戻し、体調も改善されていくはずですよ。

◆細胞も、血液・リンパ液も実は水から出来ている

水の大切さを理解するためにまず注目したいのが、体中の40～60兆にも及ぶ細胞です。私たちの体はこうした無数の細胞によって構成されていますが、実はこの細胞の70%は、水によって出来ています。

細胞膜に覆われた水袋に、遺伝子情報が格納された核や活動エネルギーを生み出すミトコンドリアなど様々な小器官が浮かんでいるのが細胞の姿です。遺伝子の指令によって体の各器官や組織の原料になるたんぱく質も、日々刻々、この細胞という水袋の中で作られています。

いわば、細胞内の水が様々な化学反応の媒介となっているため、水が不足すれば、活動エネルギーを生み出したり、たんぱく質を作り出したり・・・私たちの生命を維持する根幹の働きが低下してしまうことになるのです。問題は、細胞に十分な水が届かなくなることによって古くなった水と新しい水の入れ替えがうまくできなくなるということです。

水槽に入れっぱなしの水を思い浮かべればわかりますが、細胞内の水がドロドロと淀んでしまえば、せっかく栄養素を取り込んででもそれを活かすことができません。

細胞内の汚れた古い水の受け皿となるのは、全身に張り巡らされているリンパ管の役割です。

細胞内の古い水はこのリンパ管をつたって腎臓まで運ばれ、ここですら過されて、尿として体の外に放出されます。これに対して、細胞に栄養素を運んでいるのは血管の役割です。食べ物に含まれる栄養素は腸で分解され、血液に含まれる赤血球によって全身の細胞へと運ばれて行きます。

お気づきかもしれませんが、細胞の老廃物を運搬するリンパ液も、細胞に栄養素を運ぶ血液も、共に水を原料としています。良い水を絶えず補給していかないと、こうした細胞とのやりとりで支障がでてくるのは言うまでもありません。具体的に言えば、水不足の血液はドロドロになり、リンパ液にはゴミがたまり放題になってしまいます。私たちが生きていくために水がいかに大事なものであるか・・・多少なりともイメージできたでしょうか？しかも体が必要としているのは細胞の働きを活性化させ、血液やリンパ液の流れをスムーズにする「良い水」です。

◆「安全な水」が細胞を元気にするとは限らない！

水を取り入れるときに、気をつけて欲しいのは、「可能な限り水そのものから水分補給をするべきだということ」。細胞の働きをスムーズにさせるのには、良質な水を毎日1リットルから1.5リットル摂る必要があるのです。

もちろん水から水分補給をするべきだと言ったところで、水道水をそのまま摂ることは、あまりお勧め出来ません。なぜなら日本の水道水は安全性を考慮して、塩素での殺菌が義務付けられています。その結果、特有のカルキ臭やその他トリハロメタン等の有害物質も生じてしまいます。



近年では、浄水場に高度浄水処理を導入するなどして水質の向上が試みられていますが、地域ごとにバラツキがあり、すべて安心安全とは限りません。

ここで重視しているのは、「細胞が元気になる水の摂り方」です。高度浄水処理システムの導入により安全性を高めることと、細胞が元気になることは、必ずしもイコールとは言えません。

◆「微量ミネラル」が生命力を引き出す

植物は生長段階において、水と光と栄養が必要になります。これらの条件が整わなければ発芽せず、花も咲かないわけですが、同じ条件下で育てたつもりでも育ち方に差が出てくることは珍しく無いでしょう。

例えば、栄養に関しては「窒素・リン酸・カリ」という3つの成分が必要だと考えられています。しかしこれらの成分で構成される化学肥料で育てた野菜や果物より、自然栽培の作物のほうが生長が良く、美味しいというケースが多々あります。最近ではこうした事実をふまえ、健康な土壌に含まれる様々な微量ミネラルの働きに注目する人も増えてきました。

ミネラルとは、鉱物のように燃やしても炭にならない成分の総称

で、無機質とも呼ばれています。前述のリンやカリもミネラルの一つですが、植物を含め、生き物の身体に必要な成分はこれだけにとどまりません。とりわけ、無視できないのが「鉄」の存在でしょう。前述した植物の生長、具体的には花が発芽する仕組みに深く関与していると考えられているからです。

◆「超微量の鉄分」が、水の生命力の決めてに！

植物は、光を当てる時間を変えると生長の度合いが変わってきます。ということとは、「植物の中に光の時間を記憶する物質があるはずだ」。

そのように着想したのが「元名古屋大学農学博士の山下昭治氏でした。山下博士は、「その物質こそが鉄“二価三価鉄塩”であり、これが植物の生長（発芽）に深く関与していると考え、様々な実験を行って行きました。その結果、この「超微量」の鉄分が植物の生体水に含まれているからこそ植物の生長がうながされることがわかってきたのです。言い換えれば、「植物の生長に必要な光や温度などの情報は、この二価三価鉄塩を介して細胞に伝えられていること」になります。



つまり植物が取り入れているどんな種類の水も、最終的に二価三価鉄塩によって細胞内の水（生体水）に変えられている。こうした研究をふまえて生み出された「超微量の二価三価鉄塩に誘導された水」を山下博士は、「 π ウォーター」と名づけました。

植物研究分野で、これまでにない新しい理論であったため、ひとつの便宜として「 π 」という記号を当てはめ

たのです。分かり易く言えば、それは私たちの身体（細胞）を構成している生体水そのもの、生命の水にほかなりません。

以上今回発刊した「水と健康のちょっといい話し」より

2014年「M・ゴーナム博士 特別講演会」開催ご報告



ACM社では、2014年7月26日(土)、東京・両国KFCホールに、多くのお客様を迎え、「マンドゥ・ゴーナム博士特別講演会」を開催致しました。

ここでは、その講演内容の概要を紹介いたします。

【要旨】 ファラオが君臨した紀元前1500年の古代エジプトにおいて、王妃が乳癌で亡くなった記録があるように癌は古代から存在した。現在、私が住む米国では毎日1500人、1年間では50万人以上が癌で亡くなり、近い将来、癌による死亡が心臓病を超え、死因の1位になろうとしている。さらに米国の抱える問題は深刻で、世界で最も医療費を使う国であるにも関わらず、日本に比べ乳児死亡率は高く、平均寿命は低い。国民の15%は健康保険に入っていないなど医療環境の悪さも医療満足度を低下させている一因だ。我々は予防を目的に新しい癌対策を講じなければならない。癌から身を守るにはどうしたらいいか。その鍵は「MRN-100」にある。

《胃癌に対する「MRN-100」のメカニズムについて》

この間の病理組織学検査で、ラットにおいて化学物質誘発胃癌・食道癌に対する「MRN-100」の防護効果、抗癌作用をみた。

「MRN-100」を投与したラットに食道に異形成が発生したのは10匹中2匹で、胃や食道における癌化は1件も発見されなかった。また体重減少も見られなかった。

「MRN-100」は、血中グルタチオン(GSH)濃度、内因性抗酸化酵素、スーパーオキシド・スムターゼ(SOD)、カタラーゼ(CAT)、グルタチオンペルオキシダーゼ(GPx)、および総抗酸化機能を増大させた。

さらに酸化ストレスのバイオマーカーである脂質過酸化(LPx)および総フリーラジカルを減少させたほか、γ-GT活性を劇的に増大させた。

「MRN-100」を発癌したラットに投与するとリンパ球が正常値になり、癌細胞も縮小。樹状細胞における細胞の受容体(CD80など)の活性が高まった。

またNK細胞の活性により、NK細胞が、がん細胞を監視し、近づいては次々と退治していく。錠前に錠がはまることと扉が開くように、次々と活性化も進む。癌細胞は消え、赤血球、血小板の数値も正常になる。

「MRN-100」は天与の補助剤だ。効果・安全・



低コストのサプリとして米国の医療事情にも合い、役立つものと確信している。

マンドゥ・ゴーナム博士 プロフィール

1950年エジプト生まれ。放射線が人間の代謝機能や免疫系組織に及ぼす影響に取り組み、エジプトMansoura大学で理学部修士を取得後、被爆国である日本に留学、東京大学理学部博士課程に学ぶ。

顕微鏡で癌細胞がNK細胞を食べる「貪食作用」を発見。癌細胞の貪食作用をブロックする物質や方法の研究を行う。この研究結果を学会で発表し、一大センセーションを巻き起こした。

カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA) DREW医科大学免疫学教授。臨床免疫学会会員・神経生物学教授・放射線研究学会会員・自然免疫学会会員

1993年、アメリカ米養大学がん治療センターから癌研究における優れた業績により表彰される。

ペット用の飲料水「ピタリゲン」新容器で新発売！

ペット用の飲料水として、高い評価を頂いている「ピタリゲン」は、このほど容器を一新し、販売をスタート致しました。

「ピタリゲン」の特徴は、腸内フローラ(細菌)を正常な状態に保つ事により腸内の異常発酵や老廃物の産生を抑制し、善玉菌(乳酸産生菌)を悪玉菌よりも常に優位に保つのが、大きな特徴です。

具体的には、ペットの腸内の善玉菌を増加させることにより...

ペットの排泄物や体臭からくるペット臭が軽減されます。それにより、室内飼いの場合でも清潔さを保て、ノミやダニの発生が抑えられます。

これまで楽天市場のお客様他、多くの方からご要

望を頂いておりました500ml 入りペットボトルを、新しく商品ラインに加え、携帯用としてもお使いいただけるようになりました。

また、これまで販売しておりました1.5ℓサイズは、2ℓ 容器に変更致しました。

ピタリゲン商品価格

500ml 12本	3,000円(税別)
500ml 24本	6,000円(税別)
2ℓ 6本	4,680円(税別)



π ウォーター浄水器ユーザー訪問

厳選日本酒と漁港直送の旬魚のお店
「いさり火 両国店」



JR総武本線・両国駅の東口改札から錦糸町方面に向かって線路沿いに歩いて3~4分のところにあるのが両国で人気の居酒屋「いさり火 両国店」。両国駅近辺では、比較的ゆったりとした気分で、食事をしたり、親しい仲間とお酒が飲めるお店の一つです。この店の売りは、旬の鮮魚の多くを小田原漁港や築地から、また、まぐろは、三崎漁港から直送されてくる魚を使っており、「マグロの刺身」(一人前、千円前後)は、お勧めの一品です。また、鶏肉では、鳥取産銘柄鶏の「大山鶏唐揚げ(680円)」が、人気メニュー

になっています。

宴会コースでは、「八海山」や「久保田」などの日本酒の人気銘柄を含め、ビール、焼酎、ウイスキー等が飲み放題のコースは、料理が十品付きで、納得のいく4千円(税別)。

お店周辺のサラリーマンで、にぎあうランチタイムのメニュー(月曜から金曜)は13種類で、「季節の焼き魚定食」など8品は、800円~900円。「大山どりの親子丼」など丼もの5品は、800円~1000円で、ランチメニューも充実している。

浄水器は、「MW-400」を使用。



写真は、地鶏のちゃんこ鍋コース

「いさり火 両国店」

住所：東京都墨田区両国4-37-6

スゴー・アネックスビル2F

電話：03-3846-3663

営業時間：月曜日から土曜日 17時~24時
ランチタイム 11時半~14時

定休日：日曜日

浄水器カートリッジ交換の問い合わせ



浄水器のカートリッジを交換したいのですが、どこへ問い合わせをしたらよいのでしょうか？



製品をご購入された代理店へお問い合わせください。

* 万が一、購入された代理店が不明または連絡がつかない場合には、以下へご連絡をお願いします。
製造元：株式会社エイ・シー・エム
フリーダイヤル：0120-369-202



カートリッジを交換して、おいしい水を飲みましょう！

浄水器カートリッジ交換お問い合わせ代理店